

ヤングケアラー等に関する実態調査 結果概要

奈良県教育委員会

【調査目的】

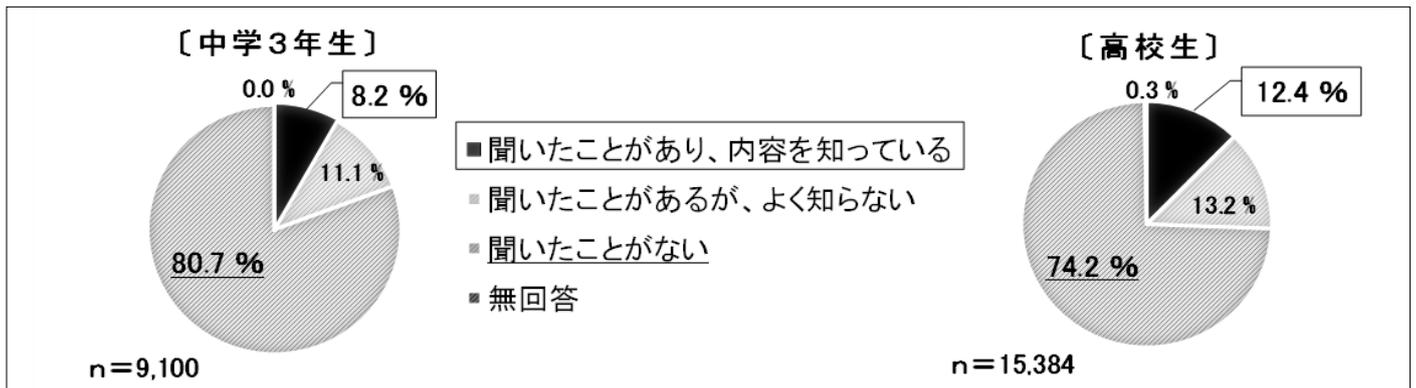
- 本来、大人が担うべき家事や家族の世話等を日常的に行っているようなヤングケアラーに関する実態の把握及び必要な支援に資する。
- 中高生のパソコンやスマートフォン等の所有状況を把握し、今後の高校でのICT教育推進の参考とする。
- いわゆる「生理の貧困」の問題に係る高校生の実態を把握する。

【調査方法等】

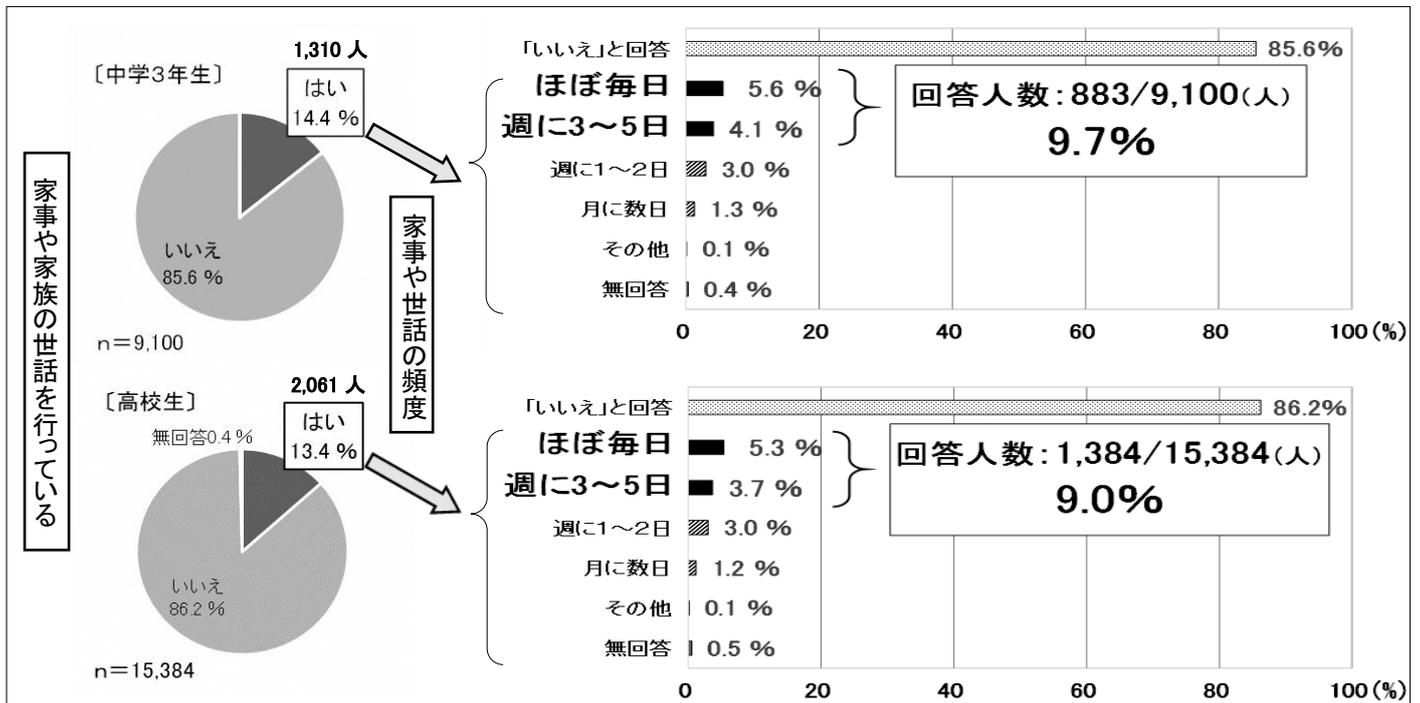
- 調査対象 県内公立中学校第3学年（約10,500人）及び県内公立高等学校全生徒（約22,900人）
- 実施方法 Google Workspace for Education を使用し、パソコン等を用いて回答する。
- 実施期間 令和3年6月16日から6月30日（当初、22日を調査終了日としていたが、6月末まで延長して実施した）
- 回収状況 有効回答数及び回答率
 - ・ 県内公立中学校第3学年 9,100人 回答率86.8%
 - ・ 県内公立高等学校生徒 15,384人 回答率67.2%

〔ヤングケアラーに関する調査結果〕

- ① ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容を知っている」と回答した中学3年生が8.2%、高校生が12.4%であり、「聞いたことがない」と回答した生徒は、それぞれ80.7%、74.2%であった。

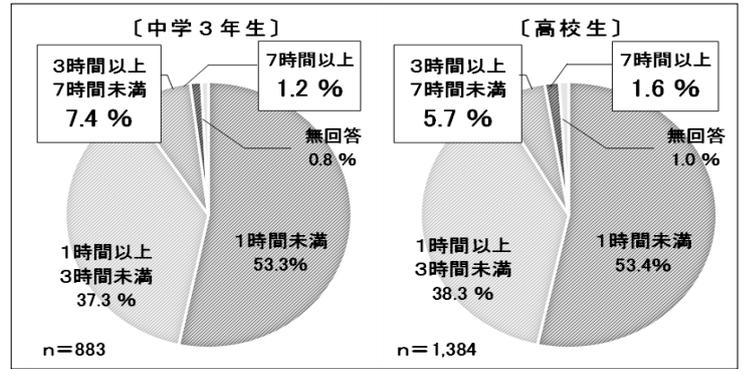


- ② 家事や家族の世話を日常的に行っている生徒のうち、その頻度が「ほぼ毎日」、「週に3～5日」と回答した割合が、中学3年生では全体の9.7%、高校生では全体の9.0%であった。



③ 週3日以上、家事や家族の世話をしている生徒で、平日1日あたりの家事や家族の世話をを行う時間について、「3時間以上7時間未満」と回答した中学3年生が7.4%、高校生が5.7%であり、「7時間以上」と回答した生徒は、中学3年生が1.2%、高校生が1.6%であった。

平日1日あたりの家事や家族の世話を3時間以上行くと回答した人数は、中学3年生が76人、高校生が101人となる。



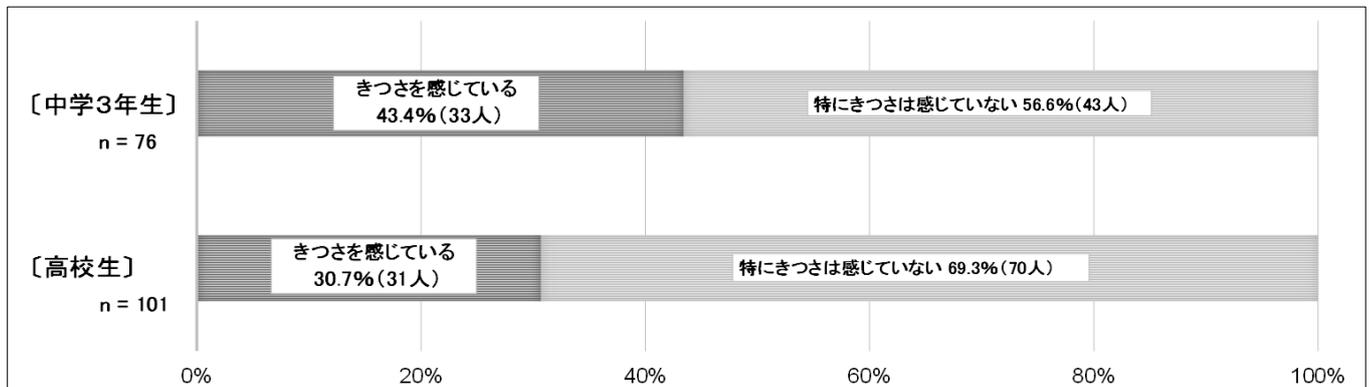
④ 週3日以上、平日3時間以上、家事や家族の世話をしている生徒の家事等の内容やきつさなどについて分析した。

ア 家事や家族の世話の内容に関して最も多かったのが「家事」、次いで「きょうだいの世話」「外出の付き添い」であった。

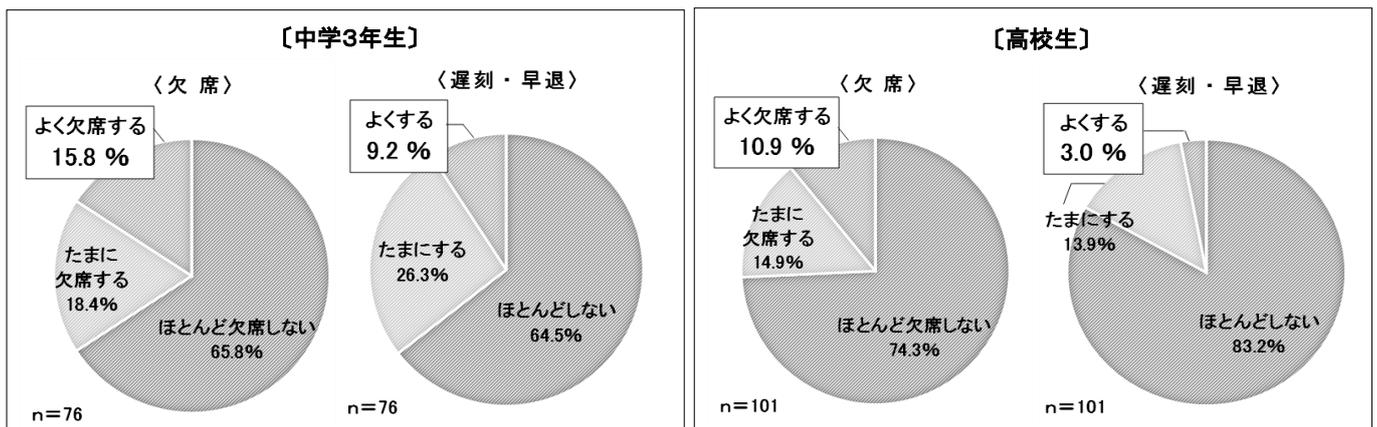
| 対象生徒の回答(複数回答)の上位5項目 | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------|-----|-------|---|---------------------------|-----|-------|
| 中学3年生 | | | 高校生 | | | | |
| | 家事や家族の世話の内容 | 回答数 | 割合 | | 家事や家族の世話の内容 | 回答数 | 割合 |
| 1 | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 61 | 28.8% | 1 | 家事(食事の準備や掃除、洗濯) | 81 | 28.1% |
| 2 | きょうだいの世話 | 52 | 24.5% | 2 | きょうだいの世話 | 75 | 26.0% |
| 3 | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 44 | 20.8% | 3 | 外出の付き添い(買い物、散歩など) | 58 | 20.1% |
| 4 | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 31 | 14.6% | 4 | 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) | 39 | 13.5% |
| 5 | 見守り | 24 | 11.3% | 5 | 見守り | 35 | 12.2% |

回答者数: 76人 / 回答数: 212 回答者数: 101人 / 回答数: 288

イ 家事や家族の世話をしていることに対して、「身体的にきつい」、「時間的に余裕がない」、「精神的にきつい」など、何らかのきつさを感じていると回答した人数の割合は、中学3年生では43.4%、高校生では30.7%であった。

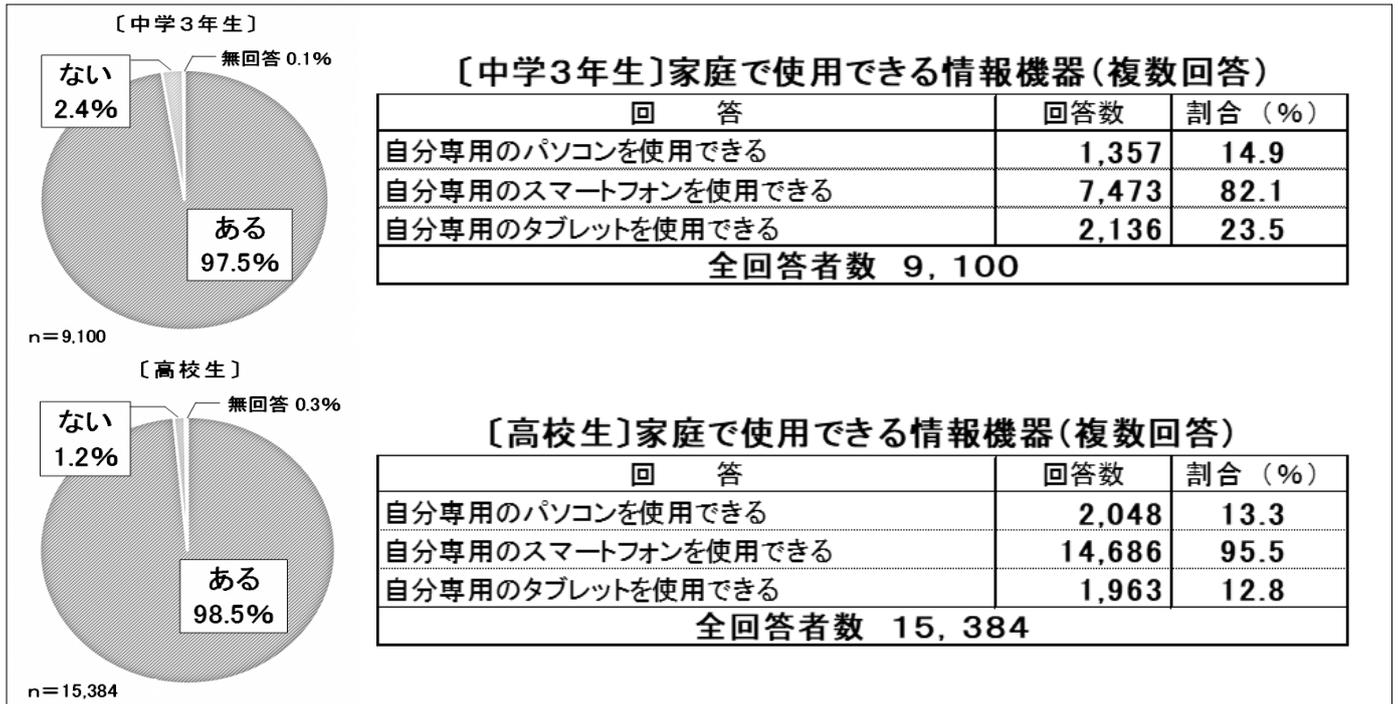


ウ 出席状況について「よく欠席する」と回答した中学3年生が15.8%、高校生が10.9%であり、遅刻や早退の状況について「よくする」と回答した中学3年生が9.2%、高校生が3.0%であった。

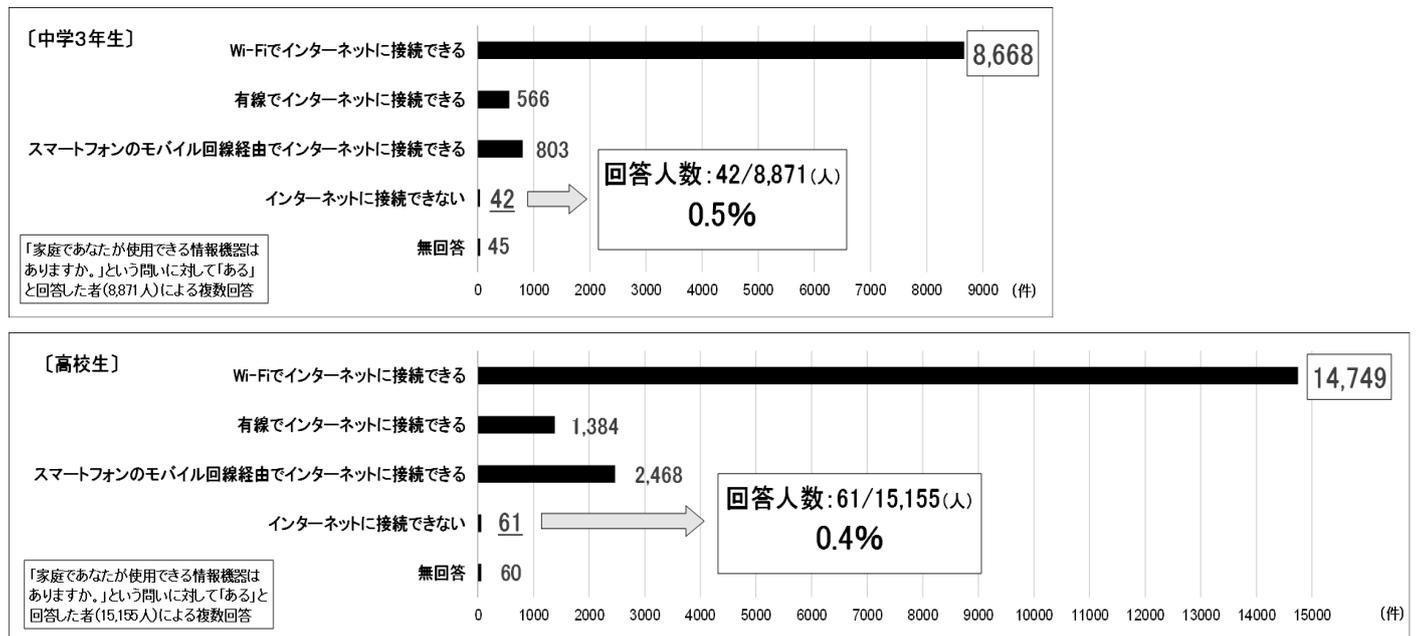


〔家庭の情報機器に関する調査結果〕

●家庭で使用できる情報機器が「ある」と回答した中学3年生が97.5%、高校生が98.5%であった。また、自分専用のパソコンを使用できると回答した中学3年生が14.9%、高校生が13.3%であった。



●通信環境については「Wi-Fiでインターネットに接続できる」と回答した件数が最も多かった。また、「インターネットに接続できない」と回答した人数の割合は、中学3年生では0.5%、高校生では0.4%であった。



〔「生理の貧困」に係る高校生の実態調査結果〕

●女子高校生(7,832人)のうち、「経済的な理由などで、生理用品を用意することができず、困っていますか。」という問いに対して「はい」と回答した人数は51人で女子回答者全体の0.7%であった。

